

平成26年度 雲南市当初予算

# よくわかる予算説明書



## も く じ

◎将来目標と予算規模	1
◎一般会計 歳入・歳出予算の概要	3～
◎平成26年度主要施策	
①市民と行政の 協働によるまちづくり	7～
②環境に配慮した 安全・快適な生活環境づくり	9～
③地域で支えあうくらしづくり	12～
④ふるさとを愛し豊かな心を 育くむ教育と文化のまちづくり	15～
⑤賑わいあふれる雲南市	17～
⑥推進計画、議会・選挙、その他	19
◎持続発展する雲南市を目指して ～財政見通し～	21～

# 将来目標と予算規模

## 将来目標

雲南市が目指す「生命と神話が息づく 新しい日本のふるさとづくり」を実現するために次の将来目標を定めています。

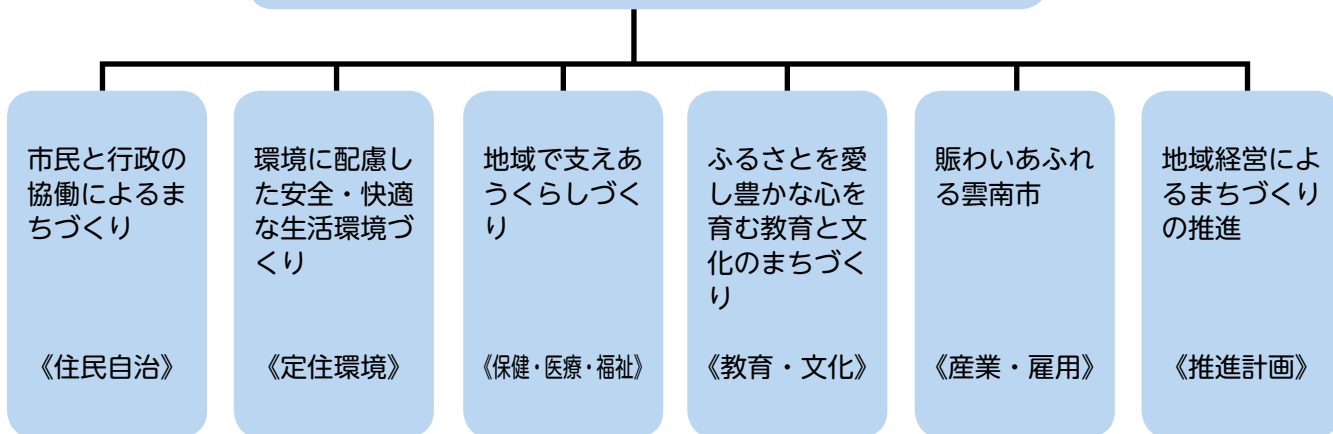
限られた予算をまちづくりの効果の高い施策に重点的に配分します。また、達成目標を指標化して毎年度政策評価を行うことにより、総合計画の適切な進行管理を行い、将来目標の実現に努めます。

平成26年度当初予算は、現行の雲南市総合計画（計画期間H19-H26）の最終年度であり、締めくくりの年となることから、施策に掲げた事業を完遂するとともに、将来の発展に繋げていくため、財源の確保を図り、「新たな挑戦」への積極的な予算として編成し、まちづくりの将来目標の実現に努めます。

【まちづくりの基本理念】

いのち

生命と神話が息づく 新しい日本のふるさとづくり



## 会計別予算規模

平成26年度雲南市当初予算の会計ごとの総額です。

予算編成に当たっては、平成27年度からの普通交付税の一本算定への移行を見据えた中で、行政評価を踏まえた雲南市総合計画後期計画（最終年度）の推進を基本として予算編成を行いました。

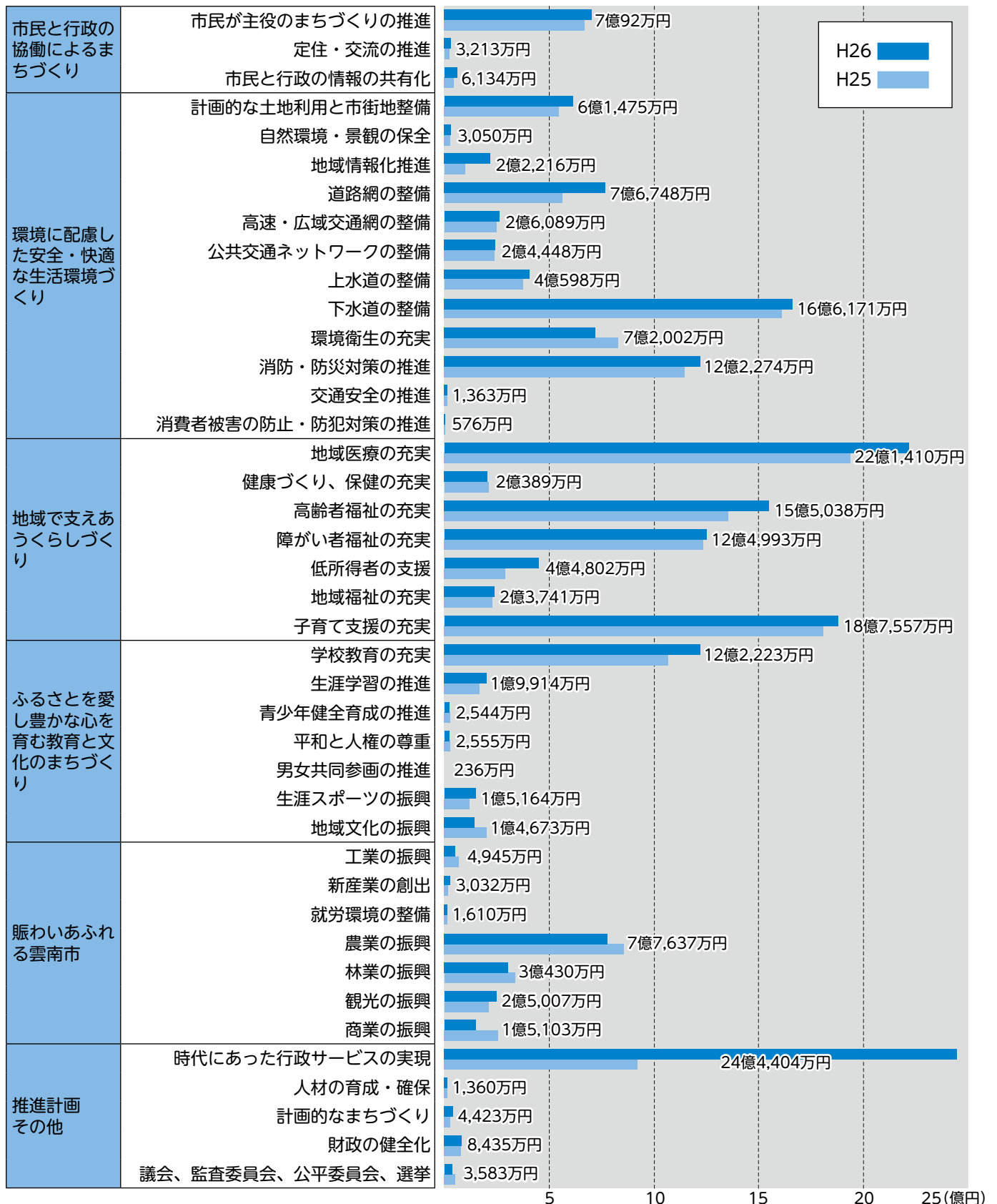
会計別	26年度予算	25年度予算	増減 (H25→H26)	増減(%)
一般会計	306億400万円	281億3,000万円	24億7,400万円	8.8
特別会計				
国民健康保険事業（事業）	47億6,700万円	47億5,100万円	1,600万円	0.3
国民健康保険事業（直診）	1億3,220万円	1億3,450万円	△230万円	△1.7
後期高齢者医療事業	10億6,300万円	10億5,950万円	350万円	0.3
農業労働災害共済事業	510万円	520万円	△10万円	△1.9
簡易水道事業	5億380万円	4億4,560万円	5,820万円	13.1
生活排水処理事業	25億2,370万円	24億7,190万円	5,180万円	2.1
財産区	77.8万円	71.7万円	6.1万円	8.5
土地区画整理事業	5億1,110万円	1億2,560万円	3億8,550万円	306.9
ダム対策	1億1,980万円	1億3,780万円	△1,800万円	△13.1
清嵐荘事業	4,760万円	4,310万円	450万円	10.4
合計	402億7,807.8万円	373億491.7万円	29億7,316.1万円	8.0

# 施策枠別予算額

施策枠別の平成26年度一般会計当初予算です。

予算編成にあたっては、施策枠別に目標値を設定し調整を行いました。

施策としては、時代にあった行政サービスの実現、地域医療の充実、道路網の整備、高齢者福祉の充実、低所得者の支援、学校教育の充実、地域情報化推進などの事業費の増額を図りました。



※人件費、公債費、予備費を除きます。  
※グラフ内の数字は、H 26 当初予算額です。

# 一般会計 歳入・歳出予算の概要

**分担金・負担金**：事業をするときに市民の皆様にご負担していただくものです。保育所負担金、給食費負担金などです。

**使用料・手数料**：公営住宅使用料、バス使用料、幼稚園使用料などがあります。

**繰入金**：市の貯金である基金を取り崩して事業に使うものです。

**諸収入**：市が事業を受託して行うことに対する収入や寄附金、他の団体から収入があるものなどです。

**財産収入**：市の建物を貸付けているものの貸付料や、市有地の売払い料などです。

**地方交付税**：市の行政運営に必要な歳出総額のうち市税や市債などで賄えない部分を、国が計算して補てんするものです。

**地方譲与税等**：自動車重量税や地方揮発油税など国税の一部が道路延長などによって市に配分されるものです。

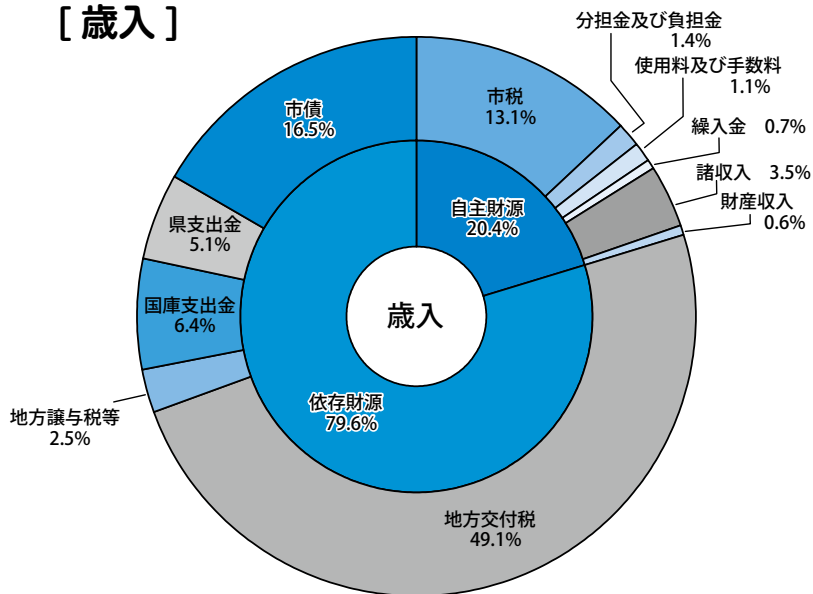
**国庫支出金・県支出金**：事業に対しての、国や県の負担金や補助金です。

**市債**：事業をするときに市税などで賄えない資金について、市が国や金融機関からする借入金です。

**自主財源**：市が自主的に収入できる財源で、市税、分担金、負担金などです。

**依存財源**：国、県によって定められたり、割り当てられたりする財源です。

## 〔歳入〕



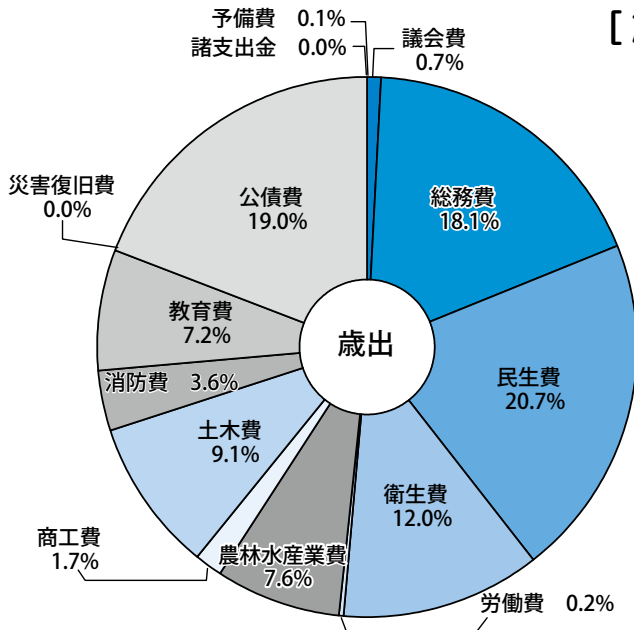
財政基盤の安定や多様な市民の皆様へのニーズに応じた自主性のあるサービスを提供するためには、一般的に自主財源の比率が高いことが望ましいとされています。

市の一般会計収入総額306億400万円に占める自主財源の割合は20.4%であり、国や県からもらえるお金や借入金に依存している構造となっています。

(単位：千円・%)

款	26年度予算額		25年度予算額		増減	
	A	構成比	B	構成比	A - B	増減率
市税	3,999,383	13.1	3,823,025	13.6	176,358	4.6
地方譲与税	286,000	0.9	289,000	1.0	△3,000	△1.0
利子割交付金	11,000	0.0	13,000	0.0	△2,000	△15.4
配当割交付金	4,000	0.0	3,000	0.0	1,000	33.3
株式等譲渡所得割交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
地方消費税交付金	410,000	1.3	351,000	1.2	59,000	16.8
ゴルフ場利用税交付金	6,500	0.0	6,000	0.0	500	8.3
自動車取得税交付金	25,000	0.1	50,000	0.2	△25,000	△50.0
地方特例交付金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
地方交付税	15,013,000	49.1	14,970,000	53.2	43,000	0.3
交通安全対策特別交付金	7,000	0.0	7,000	0.0	0	0.0
分担金及び負担金	422,844	1.4	412,051	1.5	10,793	2.6
使用料及び手数料	329,456	1.1	336,788	1.2	△7,332	△2.2
国庫支出金	1,973,678	6.4	1,575,453	5.6	398,225	25.3
県支出金	1,574,172	5.1	1,734,849	6.2	△160,677	△9.3
財産収入	160,554	0.5	46,027	0.2	114,527	248.8
寄附金	21,001	0.1	20,701	0.1	300	1.4
繰入金	207,571	0.7	41,957	0.1	165,614	394.7
繰越金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
諸収入	1,073,241	3.5	757,749	2.7	315,492	41.6
市債	5,058,600	16.5	3,671,400	13.1	1,387,200	37.8
歳入合計	30,604,000	100.0	28,130,000	100.0	2,474,000	8.8

## [ 歳出 ]



市の一般会計歳出総額306億400万円に占める公債費は、約58億2,256万円で、割合にして19.0%と高く、このうち10億円が繰上償還分となっています。このほか総務費、民生費、衛生費が全体に占める割合が多い費目となっています。

総務費、民生費、土木費が前年度に比べて大きく伸びているのは、新庁舎建設事業や旧大東中学校の解体、特別養護老人ホーム「えがおの里」増床、国の経済対策による臨時福祉給付金、国道54号拡幅関連をはじめとする道路改良・維持事業の増額などの計上によるものです。

**議会費**：議員報酬、議会運営などの経費です。

**総務費**：電算経費、自治振興費、税務管理費、戸籍住民基本台帳費などの経費です。

**民生費**：社会福祉、老人福祉、障がい者福祉、児童福祉、生活保護費などの経費です。

**衛生費**：病院、清掃、火葬場、環境衛生などの組合負担金や、浄化槽設置事業の負担金などの経費です。

**労働費**：勤労青少年ホームや勤労者福祉センターなどの管理経費です。

**農林水産業費**：農業、畜産、林業などの振興や、農業集落排水事業の負担金、地籍調査などの経費です。

**商工費**：商業、工業、観光振興などの経費です。

**土木費**：道路改良・維持、河川維持、都市計画、住宅整備、公共下水道整備事業の負担金などの経費です。

**消防費**：消防本部の負担金、消防団の維持管理、災害対策などにかかる経費です。

**教育費**：小・中学校、幼稚園、社会教育、体育施設、学校給食などの経費です。

**災害復旧費**：道路・河川災害、農地・農業用施設災害を復旧する経費です。

**公債費**：市が建設事業などを行うために借入したお金を返済するための経費です。

(単位：千円・%)

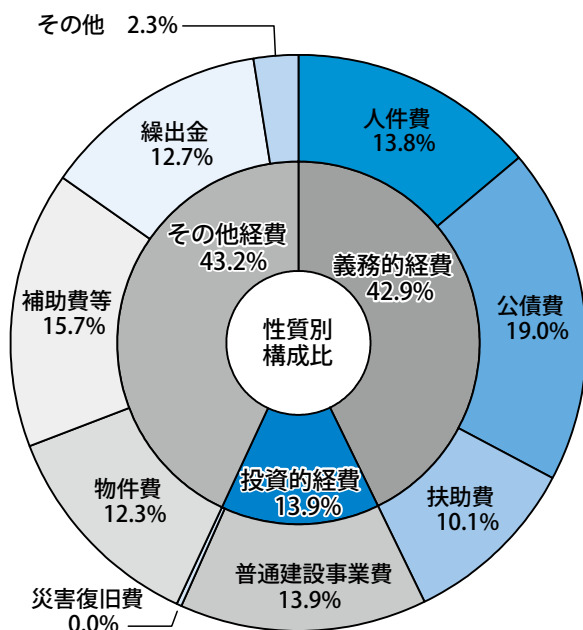
款	26年度予算額		25年度予算額		増減	
	A	構成比	B	構成比	A - B	増減率
議会費	228,229	0.7	233,931	0.8	△5,702	△2.4
総務費	5,530,346	18.1	3,875,748	13.8	1,654,598	42.7
民生費	6,321,068	20.7	5,878,276	20.9	442,792	7.5
衛生費	3,668,709	12.0	3,468,510	12.3	200,199	5.8
労働費	64,017	0.2	59,746	0.2	4,271	7.1
農林水産業費	2,320,169	7.6	2,472,936	8.8	△152,767	△6.2
商工費	517,706	1.7	603,899	2.1	△86,193	△14.3
土木費	2,786,955	9.1	2,335,788	8.3	451,167	19.3
消防費	1,110,556	3.6	1,057,093	3.8	53,463	5.1
教育費	2,205,184	7.2	2,148,645	7.6	56,539	2.6
災害復旧費	8,500	0.0	1,050	0.0	7,450	709.5
公債費	5,822,561	19.0	5,955,878	21.2	△133,317	△2.2
うち繰上償還金	1,000,000	3.3	1,000,000	3.6	0	0.0
諸支出金	0	0.0	18,500	0.1	△18,500	皆減
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
歳出合計	30,604,000	100.0	28,130,000	100.0	2,474,000	8.8

## 性質別歳出内訳 (一般会計)

平成26年度一般会計当初予算の性質別歳出内訳です。

平成26年度一般会計当初予算の歳出を、使われる目的の性質別に分類してみると、借金の返済に充てられる公債費の割合が19.0%と最も高く、次いで補助費等15.7%、普通建設事業費13.9%、人件費13.8%、繰出金12.7%などの順となっています。

投資的経費の普通建設事業費は42億5,018万円で前年度対比61.7%の増加となっていますが、これは新庁舎建設事業や国道54号4車線化に伴う道路整備、特別養護老人ホーム「えがおの里」増床などに取り組むために増額となったものです。



**人件費**：議員報酬、各種委員報酬、特別職・職員の給与、共済金、退職金などです。

**公債費**：市が建設事業などを行うために借入したお金を返済するための費用です。

**扶助費**：生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する費用です。市の単独による扶助費もあります。

**普通建設事業費**：道路・橋梁、農林業施設、学校その他公共施設の新増築、改良などの費用です。

**物件費**：賃金、旅費、需用費、備品購入費、報償費など消費的性質の費用です。

**補助費等**：各種補助金・負担金や火災保険料、一部事務組合負担金などの費用です。

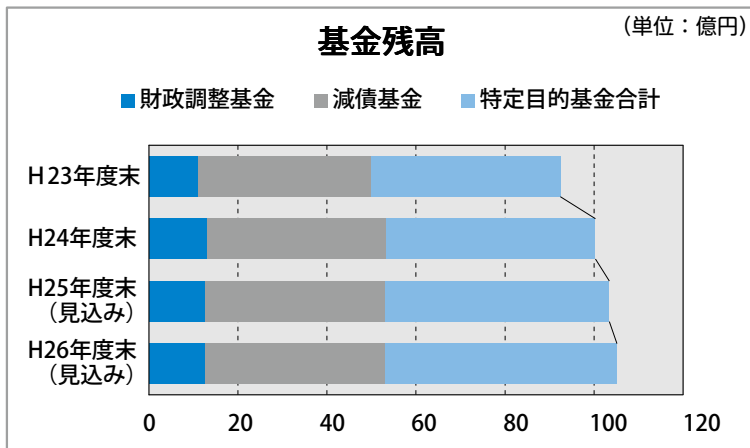
**繰出金**：一般会計から特別会計などに支出される費用です。

(単位：千円・%)

区分	26年度予算額		25年度予算額		増減	
	A	構成比	B	構成比	A - B	増減率
義務的経費	13,126,952	42.9	13,272,995	47.2	△ 146,043	△ 1.1
人件費	4,212,816	13.8	4,324,739	15.4	△ 111,923	△ 2.6
公債費	5,822,511	19.0	5,955,828	21.2	△ 133,317	△ 2.2
扶助費	3,091,625	10.1	2,992,428	10.6	99,197	3.3
投資的経費	4,258,680	13.9	2,628,863	9.3	1,629,817	62.0
普通建設事業費	4,250,180	13.9	2,627,813	9.3	1,622,367	61.7
災害復旧費	8,500	0.0	1,050	0.0	7,450	709.5
その他の経費	13,218,368	43.2	12,228,142	43.5	990,226	8.1
物件費	3,778,207	12.3	3,144,318	11.2	633,889	20.2
補助費等	4,792,012	15.7	4,450,626	15.8	341,386	7.7
維持補修費	273,944	0.9	215,867	0.8	58,077	26.9
積立金	387,398	1.3	382,851	1.4	4,547	1.2
貸付金	76,645	0.3	185,500	0.7	△ 108,855	△ 58.7
繰出金	3,890,162	12.7	3,828,980	13.6	61,182	1.6
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
歳出合計	30,604,000	100.0	28,130,000	100.0	2,474,000	8.8

## 基金残高 (一般会計)

一般会計の基金残高の見込みです。



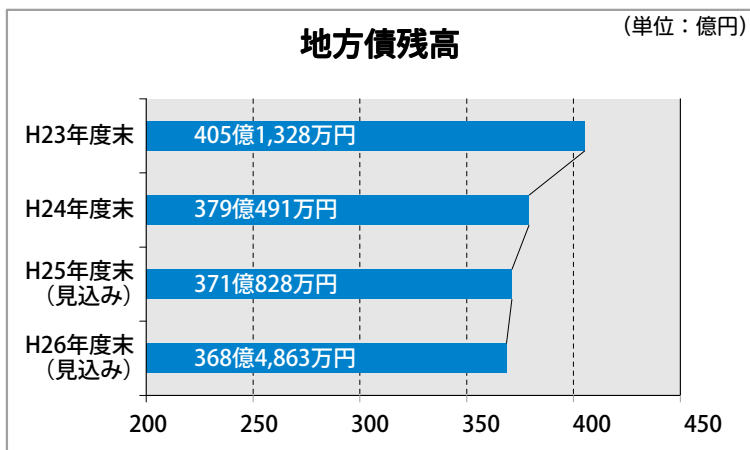
基金には、収入の不足を補うための「財政調整基金」、借金の返済に充てられる「減債基金」や、特定の目的（事業）を実施するために積み立てられる「特定目的基金」があります。

雲南市の特定目的基金は、全部で19種類あります。

平成26年度末の基金残高見込みは、減債基金、財政調整基金、特定目的基金とも増加する見込です。

## 地方債残高 (一般会計)

一般会計の地方債残高の見込です。



借金（地方債残高）が増えると財政を圧迫して、新たな取り組みなどができなくなる恐れがあります。

雲南市は、ピーク時には一般会計で567億円を超える借金がありましたが、事業の見直しによる新たな借金の圧縮や繰上償還を実施して、計画的に借金の残高を減らしてきています。

## 平成26年度 雲南市の家計

平成26年度の雲南市一般会計当初予算を、月収40万円の家庭の家計簿にたとえてみました。

収入のうち、給与の基本給にあたる地方税より、地方交付税など諸手当の割合が非常に多くなっています。また、支出では、借金の返済の割合が全体の約1/5と非常に多く、次いで会合の会費・援助、家電製品・車の購入などの順となっています。

《収入》 (単位：円)

収入種別	金額	収入種別	金額
給与	52,300	地方税	52,300
諸手当	252,500	地方交付税、各種交付金	252,500
パート収入	23,900	国・県支出金	23,900
その他の臨時収入	2,400	分担金・負担金	2,400
貯金の引き出し	2,700	使用料・手数料、諸収入	2,700
借入金	66,100	寄附金、財産収入	66,100
前年の残金	100	繰入金	100
計	400,000	地方債	66,100
		繰越金	100

《支出》 (単位：円)

支出種別	金額	支出種別	金額
食糧費	55,000	人件費	55,000
医療費など	40,400	扶助費	40,400
光熱水費・生活雑費	49,400	物件費	49,400
家の修繕など	3,600	維持補修費	3,600
電化製品・車の購入	55,600	普通建設事業費	55,600
仕送り	50,800	繰出金	50,800
会合の会費・援助	62,600	補助費	62,600
借金の返済	76,100	公債費	76,100
貯金	5,100	積立金	5,100
その他	1,400	その他	1,400
計	400,000	計	400,000

# 市民と行政の協働によるまちづくり

## (1) 市民が主役のまちづくりの推進

### 【想いをカタチに市民活動協働促進事業補助金】

400万円

政策企画部地域振興課・各総合センター  
☎ 0854-40-1013

社会貢献、地域貢献を目指した活動等に対する補助制度です。

- ①市が設定する行政テーマに対する「企画提案型協働事業」補助
- ②団体の初期補助
- ③NPO 法人の設立補助

### 拡充 【交流センター管理事業】

6,644万円

政策企画部地域振興課・各総合センター  
☎ 0854-40-1013

交流センター全 30 施設（指定管理：28 施設、市直営管理：2 施設）の施設維持管理経費です。

また、各交流センターの小規模修繕事業を実施します。

### 拡充 【地域づくり活動等交付金】

2億5,048万円

政策企画部地域振興課・各総合センター  
☎ 0854-40-1013

地域自主組織の地域づくり活動等を支援するために必要な経費を交付金として「地域自主組織」へ交付します。

平成 26 年 4 月より、民谷交流センターが新たにスタートすること等により増額となります。

### 【地域づくり人材配置事業】

637万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用して、引き続き三刀屋町中野地区へ 1 名の配置を行うとともに、市内全域対応として 1 名の配置を行い、持続可能で魅力ある地域づくりに繋げていきます。

### 【地域づくりイベント補助金】

600万円

各総合センター

「大東よいとこ祭り」「加茂地域づくりイベント」「きすきがっしょ祭り」「みとやっこ祭り」「ななかまどフェスタ」「掛合ふるさとまつり」などの地域イベントに助成します。

### 【結婚対策事業】

202万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

市内ボランティア組織やまちづくりグループが行う結婚相談事業や出会い創出事業等を支援し、結婚対策の推進を図ります。

### 【自治会運営交付金】

3,030万円

総務部総務課・各総合センター  
☎ 0854-40-1021

自治会の維持運営や活動に役立てていただくために、市内全自治会に交付します。

交付額は、世帯数 25 の平均的な自治会で約 6 万円です。交付金は、毎年 6 月末までに自治会の指定口座にお支払いします。



## (2) 定住交流の推進

### 拡充 【Uターン促進空き家リフォーム事業】

1,006 万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

市と地域自主組織が協働で地域が求める人材を確保し移住者の定住、地域貢献につなげる事業です。1戸の空き家を取得し整備します。取得空き家の選定・入居者決定などを地域自主組織とともに行います。

### 【空き家改修事業補助金】

250 万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

市外から雲南市への定住を目的に空き家を改修される場合、改修経費の一部を助成します。  
※補助上限：50万円/件

### 【定住推進協力員交付金】

150 万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

地域連携により空き家情報の収集を行うため、交流センター単位で定住推進協力員を配置する場合に5万円を交付します。

### 【定住対策促進事業】

1,219 万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

定住推進員や移住支援コーディネーターを配置して、個々の相談へのきめ細かい対応を行うとともに、定住イベントへの参加や移住支援ガイドブックを作成し、積極的な定住情報発信を行い、Uターンの促進に繋がります。

## (3) 市民と行政の情報の共有化

### 【広報・広聴活動、ホームページ運営】

731 万円

政策企画部情報政策課  
☎ 0854-40-1015

広報・広聴活動、ホームページの運営に係る経費です。市報「うんなん」の発行（毎月）、市政懇談会などを開催します。また、雲南市ホームページやメールマガジンで行政情報を提供します。

URL <http://www.city.unnan.shimane.jp/>

### 【統計調査事業】

2,097 万円

政策企画部情報政策課  
☎ 0854-40-1015

各種統計調査事業を実施します。  
ご協力をお願いします。

#### 【本年度実施する主な統計調査】

- ◎農林業センサス
  - ◎経済センサス調査・商業統計調査事業
  - ◎全国消費実態調査事業
  - ◎工業統計
- など

# 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり

## (1) 計画的な土地利用と市街地整備

### 【地籍調査事業】

1億3,803万円

市民環境部国土調査課  
☎ 0854-43-8176

市民の皆様の財産である土地の境界、所有者、地目等を調査、確認することにより、正確な情報を登記所において記録するために行う事業です。

国の前倒し（繰越事業）と併せて、市全域の早期完了を目指します。

#### 【調査を実施する地区】

- ◎大東町刈畑地区、小河内地区、南村地区、篠淵地区
- ◎三刀屋町根波別所地区、里坊地区、殿河内地区

### 【市営住宅建設、管理事業】

4億150万円

建設部都市建築課・業務管理課  
☎ 0854-40-1064 / ☎ 40-1061

市営住宅の維持・管理を行うとともに、施設の改修等を計画的に実施します。

平成26年度より市が管理する住宅を島根県住宅供給公社に管理委託します。

#### 【整備・改修実施箇所】

- ◎大東町大多和団地      ◎加茂町宇治団地
- ◎木次町三日市団地、澄水団地      など

### 【木造住宅耐震化等促進事業補助金・住宅改修促進事業補助金】

#### ○木造住宅耐震化等促進事業補助金

木造建築物の耐震改修促進のため、耐震診断・耐震設計・耐震改修・解体工事に対して助成を行います。

	補助率	補助限度額
①耐震診断	9/10	6万円
②耐震設計	1/2	20万円
③耐震改修	23/100	80万円
④解体工事	23/100	40万円

#### ○住宅改修促進事業補助金

上記②、③への上乗せ助成や、県のバリアフリーリフォームを利用される場合の上乗せ助成や、下水道接続に伴う住宅改修工事、住宅エコ改修（設備）工事に対して助成を行います。

2,960万円

建設部都市建築課  
☎ 0854-40-1064

### 【沿道区画整理型街路整備事業】

4億7,470万円

建設部都市建築課  
☎ 0854-40-1064

都市計画道路新庄飯田線（第3工区）及びその周辺の区画を、県からの委託を受けて沿道区画整理型街路事業により整備します。

## (2) 自然環境・景観の保全

### 【新エネルギー機器導入補助金】

618万円

市民環境部市民環境生活課  
☎ 0854-40-1031

住宅用・事業所用太陽光発電システム設置に対して補助金を交付します。1件あたりの上限は、住宅用は4kw、事業所用は9.99kwで、住宅用は1kw当り4万4千円を補助します。

※パナソニック製以外場合は、2万7千円／kw

### 【尾原ダム対策事業】

8,685万円

政策企画部ダム対策課  
☎ 0854-40-1012

「尾原ダム・地域に開かれたダム整備計画」に基づくダム湖周辺整備や水の縁推進事業による地域活性化対策を行います。

平成26年度は、下布施農村体験施設の外構工事や、さくらおろち湖ハーフマラソン大会などを実施します。

### (3) 地域情報化の推進

#### 【雲南市飯南町事務組合負担金 (CATV事業)】

2億1,784万円

政策企画部情報政策課  
☎0854-40-1015

CATV事業をしている雲南市飯南町事務組合への運営負担金です。平成26年度は、大東局の施設整備工事を行います。

### (4) 道路網の整備

#### 拡充 【市道整備・維持補修事業】

6億8,783万円

建設部建設事業課・業務管理課・各総合センター  
☎0854-40-1063 / ☎40-1061

市道整備計画に基づく市道の整備費や、道路維持管理計画に基づく市道の維持・修繕・補修、道路愛護作業などの経費です。

◎市道整備 12路線

#### 【除雪事業】

7,403万円

建設部業務管理課・各総合センター  
☎0854-40-1061

冬期の交通確保のため、市の所有する除雪車の運転委託経費や修繕整備費、業者所有除雪車の委託経費、除雪車リース料などです。

### (5) 高速・広域交通網の整備

#### 【国道整備関連整備事業・高速道路整備関連整備事業・県道整備事業負担金】

2億6,030万円

建設部建設事業課  
☎0854-40-1062

木次町里方地内の国道54号の4車線化に伴い、市道の付け替え工事などを行います。

また、県道整備のための負担金や、高速道路関連の案内標識の設置を行います。

### (6) 公共交通ネットワークの整備

#### 【公共交通対策事業】

2億4,304万円

政策企画部地域振興課・各総合センター  
☎0854-40-1013

「市民バス」や「だんだんタクシー」の運行及びバスセンターの管理を行います。今年度は市民バス1台を更新します。

また、JR木次線の市内6駅舎の管理を行います。

### (7) 上下水道の整備

#### 【簡易水道事業】

5億380万円

水道局工務課  
☎0854-40-0163

簡易水道施設の維持管理に係る経費です。

平成26年度から、掛合町簡易水道の管路整備や給水管の改良工事を行います。

#### 【水道事業】

収益的支出 8億8,824万円

資本的支出 5億5,259万円

水道局工務課  
☎0854-40-0163

収益的支出は、動力費、薬品費、修繕費、減価償却費など水道施設の維持管理にかかる費用です。

資本的支出は、水道施設の建設及び企業債償還元金にかかる費用です。引き続き大東町海潮地区の未普及地域解消と、老朽管の更新を行うとともに、大東町上久野区域拡張認可業務委託を実施します。また、平成28年度から10年程度を目標として、市の水道事業の方向性及び重点的な課題の実現方策等についてまとめた「雲南市水道事業総合整備計画」の策定業務委託を実施します。

#### 【工業用水道事業】

収益的支出 7,416万円

資本的支出 3,267万円

水道局工務課  
☎0854-40-0163

収益的支出は、動力費、修繕費、減価償却費など工業用水道施設の維持管理にかかる経費です。

資本的支出は、借入を行った企業債の償還元金です。

## (8) 下水道の整備

### 【生活排水処理事業】

25億2,370万円

上下水道部下水道課  
☎ 0854-42-3471

家庭や工場から流される生活排水などをきれいにするための合併浄化槽や集落排水、公共下水道施設の維持管理、整備を行います。今年度は合併浄化槽50基、大東町、木次町及び三刀屋町で公共下水道の整備を行います。

## (9) 環境衛生の充実

### 【環境衛生事業】

6億8,878万円

市民環境部市民環境生活課  
☎ 0854-40-1031

ごみ処理をしている雲南市飯南町事務組合と、し尿・汚泥処理をしている雲南広域連合への運営負担金です。

### 【ごみ集積施設整備費補助金】

70万円

市民環境部市民環境生活課・各総合センター  
☎ 0854-40-1031

ごみ集積施設を整備する場合、補助金を交付します。補助金額は、上限が10万円で、設置経費の3分の1、または利用世帯に5千円を乗じた額のいずれか低い額となります。

## (10) 消防・防災対策の推進

### 拡充 【消防・防災事業】

10億9,756万円

総務部危機管理室・各総合センター  
☎ 0854-40-1021

雲南消防本部への負担金、消防団の管理運営経費や消防車両の維持・更新、県防災システムの負担金などの経費です。今年度は、排水ポンプ車(1台)の整備やデジタル防災行政無線の整備に向けた設計を行います。

### 【防火水槽整備事業】

1,300万円

総務部危機管理室・各総合センター  
☎ 0854-40-1021

自治会等の要望により、耐震性防火水槽(40t)を整備します。今年度は2基分を予算化しています。

## (11) 交通安全の推進

### 拡充 【交通安全対策事業】

1,363万円

総務部総務課・各総合センター  
☎ 0854-40-1021

カーブミラーやガードレールの整備費や交通指導員の報酬、交通安全対策協議会の運営経費などです。高齢者の皆さんが自動車運転免許証を自主返納された場合、市民バスの回数券や、市内温泉施設の回数券を配布します。

## (12) 消費者被害の防止・防犯対策の推進

### 【消費者保護対策事業】

267万円

市民環境部市民環境生活課  
☎ 0854-40-1031

市民の皆さんが安心・安全な消費生活を営むことができるよう「雲南市消費生活センター」で相談・啓発事業を実施します。

### 【防犯街路灯整備事業補助金】

90万円

総務部危機管理室  
☎ 0854-40-1027

自治会等でLED防犯灯を整備する場合、補助金を交付します。補助金額は、設置工事費の1/2以内で、既設電柱へ共架する場合は上限2万円、支柱を設置する場合は上限4万円となります。

# 地域で支えあうくらしづくり

## (1) 地域医療の充実

拡充

### 【福祉医療事業】

1億221万円

市民環境部市民環境生活課  
☎ 0854-40-1031

重度心身障がい者及びひとり親家庭に対して、医療費の自己負担分を助成をします。10月から対象者を拡充するとともに、自己負担額の軽減を図ります。

※通院・入院1割負担（限度額あり）、薬局0円。

### 【国民健康保険事業】

48億9,920万円

市民環境部市民環境生活課・健康福祉部掛合診療所  
☎ 0854-40-1031 / ☎ 0854-62-0987

雲南市国民健康保険に加入している人に対する本人負担分を除く医療費の支払、保健事業（特定健診、特定保健指導、人間ドック、脳ドック）などの費用です。

また、掛合診療所及び波多出張診療所の事業運営費です。

平成26年度は、掛合診療所の上部内視鏡ビデオシステム・超音波診断装置を更新します。

### 【後期高齢者医療事業】

10億6,300万円

市民環境部市民環境生活課  
☎ 0854-40-1031

75歳以上の人（広域連合が認定した一定の障がいのある65歳以上の人を含む）が加入する医療保険制度で、島根県後期高齢者医療広域連合と県内全市町村が協力して運営します。

### 【市立病院事業】

収益的支出 43億8,993万円

資本的支出 8億8,637万円

雲南市立病院  
☎ 0854-43-2390

市立病院の運営や設備の更新に係る経費です。

このうち、市の一般会計から9億9,870万円を病院事業会計へ繰出ししています。

平成26年度は、市立病院改築の実施設計と土地取得を行います。

## (2) 健康づくり・保健の充実

### 【母子保健事業】

3,947万円

健康福祉部健康推進課  
☎ 0854-40-1045

妊娠期から幼児期にわたり離乳食教室、育児相談及び健康診査を行うことにより、親と子の健康増進を図ります。

また、一般不妊治療・特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図ります。

### 【予防接種事業】

9,163万円

健康福祉部健康推進課  
☎ 0854-40-1045

予防接種法に基づき乳幼児等、高齢者インフルエンザ定期予防接種を実施します。また、高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成や、風疹予防接種費用の助成を行います。

### 【健康増進事業】

3,195万円

健康福祉部健康推進課  
☎ 0854-40-1045

各種成人検診（健康診査やがん検診）の実施、健康教室や健康相談などを行い、疾病の早期発見・早期治療と住民の皆様の健康増進を図ります。

今年度も、女性特有のがんや大腸がん、肺がんについて節目年齢の無料検診を実施します。

### 【身体教育医学研究所事業】

1,289万円

身体教育医学研究所うんなん  
☎ 0854-45-0300

生涯現役でいきいきと生活できる小児期からの健康づくりの推進のため、「からだ」に関わるさまざまな事象について幅広く総合的・実践的研究を行います。

### (3) 高齢者福祉の充実

#### 拡充 【高齢者等タクシー利用料金助成事業】

173 万円

健康福祉部長寿障がい福祉課  
☎ 0854-40-1042

高齢者や障がい者等を対象として、購入した市民バスの優待回数乗車券が市民バス及びタクシー利用料の一部に使用できる制度です。平成 26 年度からは、販売額を額面金額の半額に、高齢者の年齢要件を 75 歳以上から 65 歳以上に引き下げるとともに、タクシー利用時の 1 回当たり使用限度額を 600 円から 1,200 円に拡大します。

#### 拡充 【老人福祉施設整備事業・福祉施設スプリンクラー設置事業】

3 億 2,184 万円

健康福祉部長寿障がい福祉課  
☎ 0854-40-1042

掛合町の特別養護老人ホーム「えがおの里」の居室をユニット型で 20 床増床します。また、掛合町の入間コミュニティセンターへスプリンクラーを整備します。

#### 【老人保護措置事業】

2 億 2,171 万円

健康福祉部長寿障がい福祉課・各総合センター  
☎ 0854-40-1042

身体・精神・環境・経済的理由などにより居宅において生活が困難な高齢者を対象に、市内または市外の養護老人ホームへの入所措置を行い、体調管理や生活指導を行います。

#### 【介護保険事業】

7 億 3,656 万円

健康福祉部長寿障がい福祉課・各総合センター  
☎ 0854-40-1042

雲南広域連合が行っている介護保険業務に係る費用について、構成する 1 市 2 町で負担します。

#### 【地域包括支援センター事業】

1 億 6,352 万円

健康福祉部地域包括支援センター・各総合センター  
☎ 0854-40-1043

保健師、社会福祉士、ケアマネージャーなどが中心となって、介護予防をはじめとする在宅生活の支援、権利擁護など、高齢者への総合的な相談を行い、状況に応じた支援を行います。

### (4) 障がい者福祉の充実

#### 【地域生活支援事業】

1 億 389 万円

健康福祉部長寿障がい福祉課・各総合センター  
☎ 0854-40-1042

障がいがある人がその有する能力や適性に応じ、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、地域の実態に応じた柔軟な事業形態による事業を行います。

#### 【障がい者自立支援給付事業・障がい児通所給付事業】

10 億 2,340 万円

健康福祉部長寿障がい福祉課・各総合センター  
☎ 0854-40-1042

障がい者自立支援給付事業では、さまざまな障がい者福祉サービスを実施するとともに、補装具費の支給も行います。

障がい児通所給付事業では、療育支援が必要な児童に、通所によるサービスの提供などを行います。

### (5) 低所得者の自立支援

#### 【生活保護事業】

3 億 1,071 万円

健康福祉部健康福祉総務課  
☎ 0854-40-1041

生活に困窮する方に対し、資力、需要を調査したうえで、必要に応じて保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、自立した生活ができるよう援助する事業です。

#### 新規 【臨時福祉給付金給付事業】

1 億 3,685 万円

健康福祉部健康福祉総務課  
☎ 0854-40-1041

消費税率が 8% に引き上げられることに伴い、低所得者へ国の経済対策による臨時福祉給付金を給付します。

## (6) 地域福祉の充実

### 【社会福祉協議会補助金】

1億2,139万円

健康福祉部健康福祉総務課  
☎ 0854-40-1041

雲南市社会福祉協議会の法人運営費やボランティアセンター事業など地域福祉活動に対し補助金を交付します。

新規

### 【総合保健福祉計画策定事業】

51万円

健康福祉部健康福祉総務課  
☎ 0854-40-1041

雲南市総合保健福祉計画の策定を行います。

## (7) 子育て支援の充実

### 【子ども医療費助成事業】

1億2,052万円

市民環境部市民環境生活課  
☎ 0854-40-1031

安心して子育てができる環境づくりを推進するため、0歳から小学校修了までの子ども等の医療費の自己負担額を全額助成します。

拡充

### 【児童手当、児童扶養手当事業、子育て世帯臨時特例給付金給付事業】

7億3,664万円

市民環境部市民環境生活課・健康福祉部子育て支援課  
☎ 0854-40-1031 / ☎ 40-1044

子どもの健全育成のために0歳から中学校修了までの児童等を扶養する父母等に対して児童手当を給付します。児童扶養手当は、父母の離婚などにより父または母と生計を共にしていない児童を監護・養育している人に対し支給するものです。また、平成26年度は、消費税増税に伴う子育て世帯の負担軽減のために、国の経済対策による「子育て世帯臨時給付金」を支給します。

### 【放課後児童対策事業】

3,395万円

健康福祉部子育て支援課  
☎ 0854-40-1044

保護者が共働きなどで昼間不在になる家庭の小学校1～3年生の児童が友達と遊んだり宿題をしたりして過ごす場所「放課後児童クラブ」の運営や運営の委託を行います。

### 【地域子育て支援事業】

3,433万円

健康福祉部子育て支援課  
☎ 0854-40-1044

ファミリーサポートセンターを設置し、育児援助を行いたい方、育児援助を受けたい方双方の会員を募集・登録し、相互の援助活動の調整を行います。また、地域子育て支援センターでは、地域の子育て家庭に対する育児不安について相談指導を行います。

### 【保育所運営事業】

8億6,035万円

健康福祉部子育て支援課  
☎ 0854-40-1044

市内9か所の市立保育所の管理・運営費と業務委託費、市内3か所の私立保育所での保育実施のための措置費です。

### 【病後児保育事業】

709万円

健康福祉部子育て支援課  
☎ 0854-40-1044

病気の回復期にある児童を一時的に預かり、保護者の子育てと就業の両立を支援していきます。

### 【幼稚園管理・運営事業】

5,468万円

教育委員会教育総務課・学校教育課  
☎ 0854-40-1071 / ☎ 40-1072

雲南市立幼稚園の管理運営に要する経費で、幼児を保育するために適当な環境を整え、その心身の発達に努めます。三刀屋幼稚園では、通常保育日の午後2時から午後6時までの預かり保育に加え、夏季、冬季、学年末休業日の午前8時から午後6時までの預かり保育を実施しています。

# ふるさとを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり

## (1) 学校教育の充実

### 拡充 【小中学校施設整備事業】

1億2,599万円

教育委員会教育総務課  
☎ 0854-40-1071

小中学校の書架、ロッカーなどの転倒防止対策、体育館の天井落下防止対策や施設の修繕を行います。  
平成26年度から、全小中学校の普通教室へのエアコン整備に着手します。今年度は大東、木次、三刀屋中学校を予定しています。

### 拡充 【学校支援事業】

1億6,975万円

教育委員会教育総務課・学校教育課  
☎ 0854-40-1071/ ☎ 40-1072

支援を要する児童生徒のための支援員配置や、不登校や不登校傾向のある児童生徒をサポートするための教育支援センターへ指導員や相談員、スクールカウンセラーの配置等、きめ細やかな支援を実施します。  
平成26年度から、児童福祉等専門知識を持つスクールソーシャルワーカーを2名体制とし、支援の拡充を図ります。

### 拡充 【夢発見プログラム事業、夢発見ウィーク事業、カタリバ体験事業】

448万円

教育委員会学校教育課  
☎ 0854-40-1072

次代を担う子ども達の育成のため、次の事業を実施します。  
「夢発見プログラム事業」：小学校での交流学習や市内スポットめぐり等を実施します。  
「夢発見ウィーク事業」：中学生の職業体験学習を実施します。  
「キャリア教育推進のためのカタリバ体験事業」：中学校3年生を対象に、大学生が担当となり生徒が希望をもって将来を描ける「動機付け学習プログラム」を実施します。

### 新規 【小学校英語教育推進事業】

1,944万円

教育委員会学校教育課  
☎ 0854-40-1072

小学校3・4年生からの英語活動実施に伴い、市独自に英語指導助手4名を配置します。  
3・4年生は年間15時間の英語活動、5・6年生は年間35時間の外国語活動を予定しています。

### 【学校給食運営事業】

5億1,040万円

教育委員会教育総務課  
☎ 0854-40-1071

雲南市内の中学校7校、小学校16校、幼稚園11園の園児、児童、生徒など一日約4,000食分の給食をつくります。

## (2) 生涯学習の推進

### 【国際交流事業】

1,119万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

国際交流員の配置や、市内の団体等が実施する国際交流事業を支援し、市民の異文化理解の推進を図ります。

### 【図書館運営事業】

4,606万円

教育委員会社会教育課  
☎ 0854-40-1073

市内3か所の市立図書館の管理運営に要する経費です。市民の生涯学習の拠点としての充実に努めます。

## (3) 青少年の健全育成の推進

### 【学校支援地域本部事業】

946万円

教育委員会社会教育課  
☎ 0854-40-1073

地域につくられる学校の応援団として、全小学校に教育支援コーディネーターを配置し、多様な形態のボランティア活動を行います。



## 【放課後子ども教室事業】

1,393 万円

教育委員会社会教育課  
☎ 0854-40-1073

主に小学生を対象として、放課後や土日、祝日に安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の皆さんの協力を得ながら、勉強やスポーツ、文化活動、昔の遊び、野外体験活動などに取り組みます。

## 【青少年海外視察等派遣事業】

95 万円

政策企画部地域振興課  
☎ 0854-40-1013

リッチモンド・サマースクール事業として、市内に住所がある中学2年生、3年生及び高校生を対象としてアメリカ インディアナ州リッチモンド市へ派遣します。

## （4）平和と人権の尊重

### 【永井隆顕彰事業】

430 万円

教育委員会社会教育課  
☎ 0854-40-1073

永井隆博士の「平和を」と「如己愛人」の精神に基づき、「永井隆平和賞発表式典」の実施など、雲南市をあげて平和の重要性を全国に発信します。

### 【人権同和教育・啓発事業】

446 万円

人権センター  
☎ 0854-42-1767

人権問題に係る相談窓口として、特設人権相談所を各総合センターと連携して開設します。雲南市内小学校を対象に人権の花運動や人権の樹の植樹を行うなど人権・同和教育及び啓発を進めます。地域の人権・同和教育や啓発を進めるため市人権・同和教育推進協議会及び各支部、運動団体への補助金交付、さらに関係団体等へ法令外負担金を支出します。

### 【人権センター管理運営事業】

1,120 万円

人権センター  
☎ 0854-42-1767

人権センターの管理費や人権センター運営審議会、各種研修会の開催経費などです。

## （5）男女共同参画の推進

### 【男女共同参画推進事業】

236 万円

男女共同参画センター  
☎ 0854-42-1767

市民誰もがお互いを尊重し、安心して生き生きと豊かに暮らしていくために、男女共同参画社会を目指し、意識啓発のための研修、講座の開催、情報提供を行います。

## （6）生涯スポーツの振興

### 【体育振興事業】

1 億 4,639 万円

教育委員会社会教育課  
☎ 0854-40-1073

体育協会、スポーツ少年団の活動補助金やスポーツ推進委員協議会の活動助成金、その他各種大会開催等の補助金です。また、市内スポーツ施設を管理するための経費です。

## （7）地域文化の振興

### 【文化財保護、調査事業】

1 億 76 万円

教育委員会社会教育課  
☎ 0854-40-1073

市内には、加茂岩倉遺跡や菅谷たたら山内など多くの重要な文化財があり、これらの調査、保護を行うことにより文化財の活用を図ります。平成 26 年度は、引き続き菅谷たたら山内の保存修理工事を進めます。

# 賑わいあふれる雲南市

## (1) 工業の振興

### 【産業推進事業】

4,945 万円

産業振興部産業推進課  
☎ 0854-40-1052

企業が新設・増設の際に、投下固定資本総額 2,500 万円以上、かつ増加する常用雇用者が 5 人以上の場合、次の助成を行います。

- ① 固定資産税相当額の助成
- ② 雇用人数に対する助成
- ③ 用地取得代金の助成

## (2) 新産業の創出

### 拡充 【産業振興センター事業】

3,032 万円

産業振興部産業推進課  
☎ 0854-40-1052

産業創出プロデューサーや起業支援専門員を設置し、企業誘致活動や新産業創出を推進します。

市内企業の新製品・新技術開発や販路開拓に係る経費の助成や、雲南市の「食の幸」を活かした産業推進を図るため、農商工連携の基本計画を策定します。

策定から 10 年経過の産業振興ビジョンを見直します。

## (3) 就労環境の整備

### 【労働施設管理事業】

1,610 万円

木次総合センター

勤労者総合福祉センター（サンワーク木次）と勤労青少年ホームの管理経費です。

## (4) 農業の振興

### 拡充 【農業振興事業】

4 億 6,710 万円

産業振興部農林振興課・農業委員会・各総合センター  
☎ 0854-40-1051 / ☎ 40-1092

地元農産物の生産振興、集落営農組織や認定農業者等の担い手農家の育成、新規就農者の支援や有害鳥獣の被害を防ぐための経費です。また、農業委員会や担い手育成支援室の運営経費、各種協議会の負担金、農業関係施設の管理費や中山間地域直接支払交付金などです。新たな事業として、環境に優しく経済的な農業を振興するための土壌分析や集落営農組織の施設機械の整備等に対する助成を行います。

### 拡充 【畜産振興事業】

1,926 万円

産業振興部農林振興課・各総合センター  
☎ 0854-40-1051

市場性の高い肉用牛や高い乳質にこだわった酪農の生産振興のための経費です。

また、市営牧場や繁殖和牛センター等の管理運営費、畜産団体の育成費、各種協議会の負担金、優良雌牛の保留・導入補助や家畜共進会の奨励補助などです。

新たな事業として、家畜輸送に係る農家負担を軽減するための助成を行います。

### 【土地改良、農地整備事業】

2 億 1,114 万円

産業振興部農林土木課・各総合センター  
☎ 0854-40-1053

大型機械による作業の省力化と生産性の向上を図る圃場整備や、中山間地域の農村活性化を図る圃場・農道・用水など総合的な整備を行うための経費です。

平成 26 年度は、雲南北地区（大東町、加茂町、木次町）の圃場等の整備や、幡屋川の頭首工の改修、小規模な土地改良事業などに取り組みます。

## 【農道整備事業】

5,700万円

産業振興部農林土木課・各総合センター  
☎ 0854-40-1053

農道整備事業は、農業の生産活動や農作物の流通など労力の軽減を図るとともに、農村地域の社会生活にも活用を図る道路整備です。

### 【今年度整備する主な農道】

- ◎幡屋地区基幹農道（大東町～加茂町）
- ◎飯石・斐伊地区農道（木次町～掛合町）
- ◎斐伊地区農道
- ◎大東町佐世地区、吉田・掛合町吉掛地区農道 ※調査費

## （5）林業の振興

### 拡充 【林業振興事業】

4億4,204万円

産業振興部農林振興課・各総合センター  
☎ 0854-40-1051

森林が持つ公益機能を十分に発揮させるため、森林の適切な維持・管理を図り、林業生産活動を活発にするための経費です。

林業関係団体や協議会の負担金、森林・林業関係施設の管理費、有害鳥獣捕獲事業や森林整備地域活動支援交付金、公有林整備事業や公社造林受託事業などです。

また、木質バイオマスエネルギーを推進するため、繰越事業により、おろち湯ったり館に木質チップボイラーの整備を行います。

## （6）観光の振興

### 拡充 【観光宣伝、施設管理事業】

1億6,157万円

産業振興部商工観光課・各総合センター  
☎ 0854-40-1054

雲南市観光協会への活動補助や市内外に向けた観光情報の宣伝・PR、観光集客施設や温泉施設などの管理運営を行います。

平成26年度は、道の駅「たたらば壱番地」身障者用駐車場の屋根整備や、食の幸発信イベントの実施、県と関係7市町による映画製作の支援、広島圏域へのPR強化を図るためのスポットCM等の制作経費などを予算化しています。

## 【日本一のさくらのまちづくり事業】

1,253万円

産業振興部商工観光課  
☎ 0854-40-1054

雲南市の花に指定された「桜」。日本一の桜のまちづくりを推進するため、桜の樹の保育・管理等を行います。また、市民が中心となって組織される「雲南市さくらの会」への補助金を交付します。

### 新規 【清嵐荘整備事業】

350万円

産業振興部商工観光課  
☎ 0854-40-1054

老朽化した国民宿舎「清嵐荘」の改築整備に向けて、基本計画策定業務に着手します。

## （7）商業の振興

### 拡充 【商工振興事業】

1億5,103万円

産業振興部商工観光課  
☎ 0854-40-1054

雲南市内の中小企業者が有利な資金を借りられるよう金融機関への預託や、商工会による小規模事業者への経営指導事業に対する補助、新たに創業される商店などの「店舗改装費」「店舗家賃」「融資保証料」に対しての補助を引き続き行います。

また、プレミアム商品券の発行や、巡回指導員配置に係る経費などについても商工会へ助成を行うとともに、3月に制定した「雲南市中小企業振興基本条例」に基づき、市内中小企業の振興に努めます。

# 推進計画、議会・選挙、その他

## (1) 時代にあった行政サービスの実現

### 拡充 【新庁舎建設事業】

15億5,307万円

総務部新庁舎建設推進室  
☎ 0854-40-1025

平成27年度秋の完成を目標に、市役所の本庁舎の建設に着手します。

### 新規 【庁舎施設整備事業、電算庁舎移転事業、公共施設解体撤去事業】

2億6,659万円

総務部管財課・各総合センター  
☎ 0854-40-1025

県道の支障移転となる大東分庁舎（旧大東中学校）を解体し、旧法務局を取得して市役所の分庁舎として整備を行います。

### 【庁舎管理事業】

8,835万円

総務部管財課・各総合センター  
☎ 0854-40-1025

市役所本庁と分庁舎、各総合センターの光熱水費、設備等の保守委託などの管理経費です。

## (2) 人材の育成・確保

### 【職員研修事業】

516万円

総務部人事課  
☎ 0854-40-1021

様々な行政課題別の職員研修に積極的に参加させるなど、人材育成を進め、職員の資質向上に努めます。

## (3) 計画的なまちづくり

### 【雲南ブランド化プロジェクト】

660万円

政策企画部政策推進課  
☎ 0854-40-1011

自然、歴史、食、人の幸（地域資源）を活かしたさまざまなプロジェクトを推進します。

- ◎総合特区制度を活用した「たたらの里山再生プロジェクト」の推進
- ◎体感フェア@雲南市桜まつりなど通年の交流活動の実施
- ◎ブランドサイトなどによる情報の発信

### 新規 【中山間支援人材育成事業】

1,317万円

政策企画部政策推進課  
☎ 0854-40-1011

地域自主組織をはじめとした市民活動団体を支援し、行政との調整役も担う中間支援組織の充実を図るため、中間支援組織の運営スキルをもつ若手人材を育成します。

## (4) 財政の健全化

### 【税の賦課徴収事業】

5,402万円

市民環境部税務課・債権管理対策局  
☎ 0854-40-1034 / ☎ 40-1035

市税（市県民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料）の賦課業務、徴収業務を行います。

申告相談、家屋調査等の賦課資料の収集、調査により市税の適正賦課と法令遵守に徹した徴収業務を行います。  
また、使用料を含めた横断的な滞納整理体制の整備を行います。

## (5) 議会、選挙、その他

### 【議会運営事業】

1億7,983万円

議会事務局  
☎ 0854-40-1004

議員報酬、政務調査費、議会運営費、全国・県市議会議長会等の上部団体への負担金、議会広報「市議会うんなん」の年4回の発行などの経費です。

### 【選挙】

1,296万円

総務部総務課  
☎ 0854-40-1021

今年度は、任期満了に伴う農業委員会委員選挙の執行を予定しています。

### 【一般会計公債費】

58億2,256万円

総務部財政課  
☎ 0854-40-1023

これまでの建設事業などの実施のために発行した地方債（借入金）の元利償還金などです。平成26年度当初予算では、繰上償還10億円を予算化しています。

### 【雲南市市制施行（合併）10周年記念事業】

3,681万円

総務部総務課  
☎ 0854-40-1021

雲南市の市制施行（合併）10周年を記念して、記念式典ほかいろいろな事業（イベント）を実施します。

実施事業	担当課
雲南市市制施行10周年記念式典 (記念式典, 雲南市の歌披露, 各種功労者表彰, 記念講演など)	総務部総務課
雲南市市制施行10周年記念「NHKのど自慢」	総務部総務課
温浴施設入浴料無料化	総務部総務課
アートカレンダー作成	総務部総務課
うんなん幸あり月2014	政策企画部政策推進課
元気な地域づくり活動発表会	政策企画部地域振興課
さくらおろち湖マラソン大会	政策企画部ダム対策課
さくらおろち湖ウォーク事業	政策企画部ダム対策課
食の幸発信イベント事業	産業振興部商工観光課
市民創作劇	教育委員会社会教育課
映画「うん、何？」上映	教育委員会社会教育課
雲南市ジョイフルスローピッチソフトボール大会	教育委員会社会教育課
雲南市トップアスリート招致事業	教育委員会社会教育課
チャレンジデー2014	教育委員会社会教育課

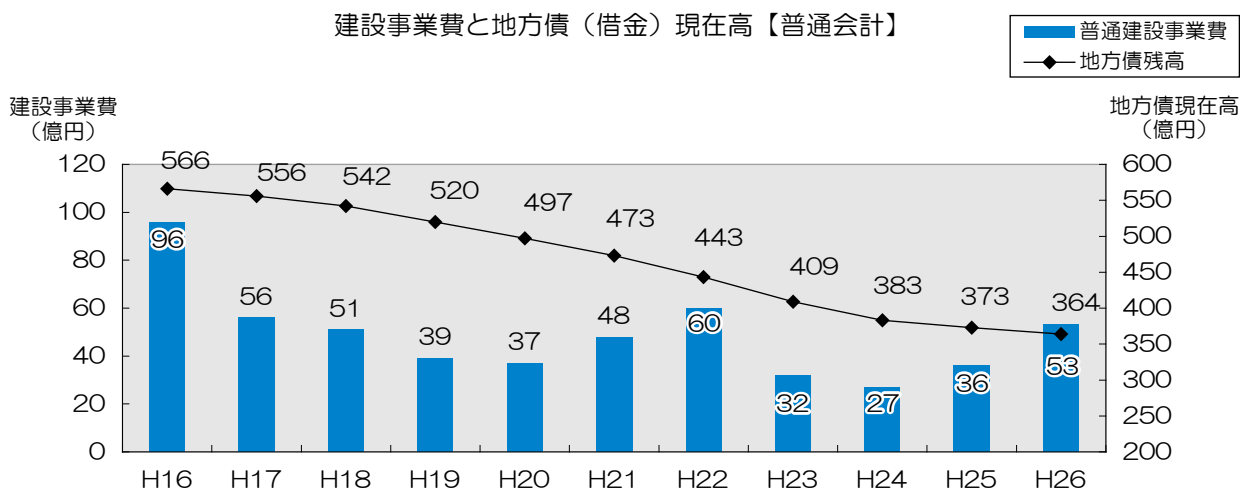
# 持続発展する雲南市を目指して

## 建設事業と地方債現在高

建設事業は道路や下水道、学校その他公共施設などの整備事業のことです。これらの整備には一度に多額の資金が必要なことや、これから先、長年にわたって利用されることから地方債（借金）により整備されることがほとんどです。このことから、建設事業と地方債現在高には密接な関係があるといえます。

建設事業は生活の基盤であると同時に、市内の産業を支える重要な役割もあります。これら建設事業と借金返済のバランスを上手にとることが必要です。

雲南市は、合併以来、地方債現在高を減らすように努めてきましたが、依然として多額の返済が必要です。毎年の借金返済額が減り、市の財源に余裕ができれば、新たな事業への取り組みが可能になります。

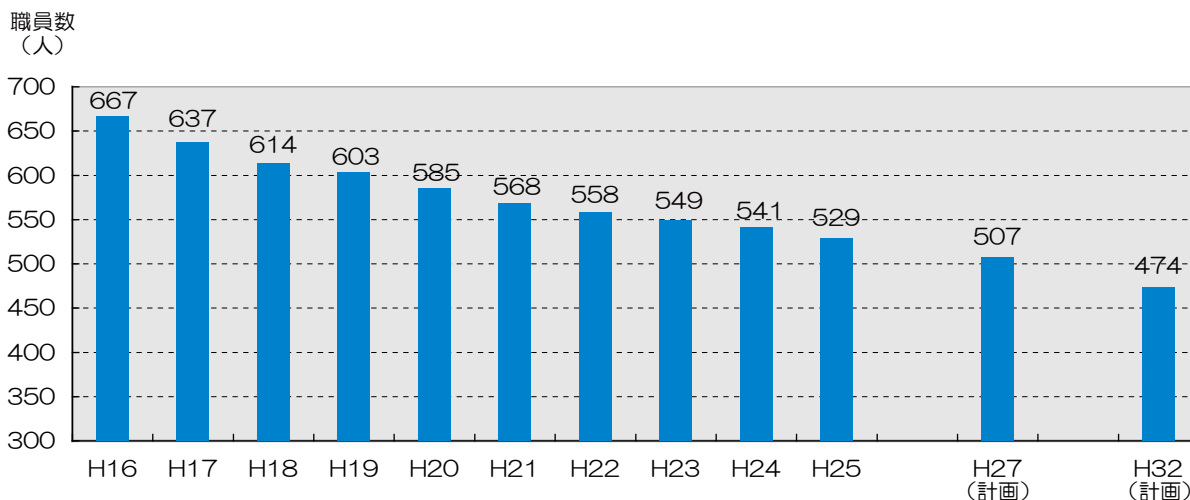


※平成26年度は、中期財政計画における計画値です。

## 組織の見直しと職員数の削減

職員数については、平成21年度に見直した「雲南市定員管理計画」において、平成27年507名、平成32年度474名としており、今後55名程度減らすこととしています。

この職員数の減に対応するためには行政組織再編が必要不可欠であり、その中でも総合センターのあり方については地域住民や各種団体の代表の皆さんからなる「行政組織見直し検討委員会」において意見をいただきながら、市において縮小に向けての一定方針を示させていただきました。今後は、事務事業の整理・統合を含め、行政サービスの低下を招かないようさらに検討を重ね、住民の皆さんへの周知・説明を行いながら対応したいと考えています。



## 中期財政計画

中期財政計画は、雲南市総合計画の着実な実施に向けて、中期的な財政収支の見通しを立て、限られた財源を有効に活用し、健全で総合的な行財政運営を行うための指針となるものです。この計画は、現実的な期間として5年間を設定して策定し、国・県の動向などの最新情報をもとに、毎年見直しを行っています。

今回策定した計画は、平成26年度から平成30年度までの5年間を計画期間としています。

※中期財政計画は、普通会計全体（一般会計と土地地区画整理・ダム対策・農業労働災害共済特別会計の合計）で推計したものです。

### ◎ポイント

- 1 平成24年9月に総務省に提出した「交付税制度研究会報告書」に基づく制度改正により、総務省より示された「市町村の姿の変化に対応した交付税算定」のうち支所に要する経費について反映しました。（減額分の3分の1の11.2億円が復元）
- 2 平成27年度からの地方交付税一本算定への移行（「市町村の姿の変化に対応した交付税算定」を含む）を見据えて、経常経費の削減、基金造成等を行い、財政の健全化を図る必要があります。
- 3 実質公債費比率については、これまでの繰上償還などにより、減少していく予定としていますが、引き続き公債費の縮減が不可欠であり、実施計画に基づく計画的な地方債発行と繰上償還が必要です。
- 4 地方交付税への依存が高い中、平成26年度地方財政計画における一般財源総額は、平成25年度と同水準を確保することとされましたが、国の厳しい財政状況を踏まえた今後の地方交付税、国庫支出金などの動向に留意する必要があります。
- 5 物件費、補助費、繰出金などについては、削減率での推計、あるいは、経営計画額に基づき計上していますが、行政評価、行財政改革実施計画、公の施設見直しなどの着実な実行により、計画値の達成を図る必要があります。

項目	⇒計画期間							単位：百万円
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
市税	3,988	3,995	3,999	3,950	3,961	3,973	3,929	
地方譲与税・交付金等	745	732	761	947	1,088	1,123	1,123	
地方交付税	15,483	15,529	15,211	14,663	13,801	13,205	12,892	
分担金・負担金	274	268	277	279	275	264	262	
使用料・手数料	433	474	476	476	475	475	474	
国庫支出金	1,929	2,349	2,128	1,803	1,746	2,156	1,799	
県支出金	2,106	1,929	2,190	1,748	1,730	1,602	1,610	
地方債	3,299	3,708	5,481	4,444	3,221	2,996	2,519	
その他	1,366	1,313	1,458	1,376	825	1,162	1,231	
合計 A	29,623	30,297	31,981	29,686	27,122	26,956	25,839	

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
人件費	4,568	4,448	4,338	4,299	4,282	4,269	4,189
公債費	6,501	6,115	5,849	5,671	4,768	4,390	4,459
扶助費	2,951	3,020	3,091	3,111	3,176	3,243	3,313
補助費等	4,012	4,291	4,363	4,032	4,108	4,305	3,960
普通建設事業費	2,748	3,211	5,342	4,273	2,471	2,798	1,869
繰出金	3,737	3,851	3,802	3,752	3,779	3,580	3,660
その他	4,692	5,261	5,196	4,548	4,538	4,371	4,389
合計 B	29,209	30,197	31,981	29,686	27,122	26,956	25,839

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
C=A-B	414	100	0	0	0	0	0

◎うち財政調整金・減債基金の状況							
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
積立て	339	0	0	100	100	0	0
取崩し	0	0	0	0	0	△100	△300

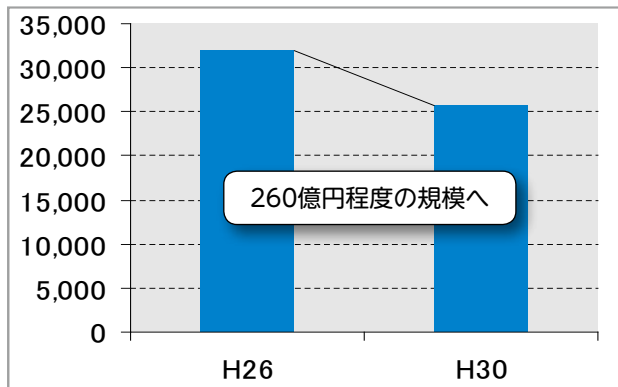
◎基金残高・地方債残高							
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
基金残高	10,054	10,401	10,578	10,378	10,429	10,079	9,633
地方債残高（普通会計）	38,275	36,293	36,420	35,741	34,774	33,970	32,633

※参考 H16 未地方債残高：56,758

◎財政指標							
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
実質公債費比率（単年）	15.0	14.5	11.9	9.9	10.8	10.3	12.4
実質公債費比率（3年平均）	17.6	16.0	15.0	13.8	12.0	10.8	10.3

## 各指標の比較 (平成26年度と30年度との比較)

### ◎財政規模

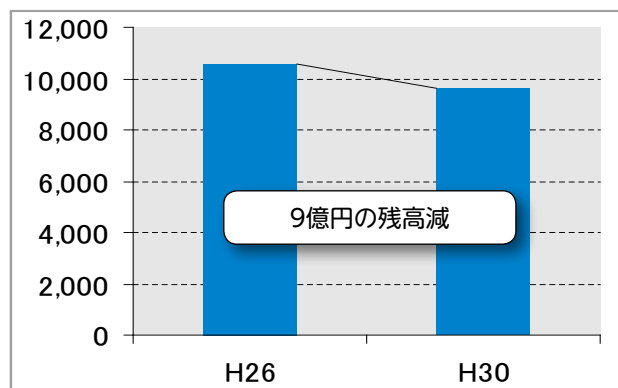


歳入のうち地方交付税が合併後10年を経過し減少するため、歳入歳出総額も減少していかざるを得ません。したがって、普通建設事業費の圧縮をはじめとして補助費等、人件費などの削減を計画しています。

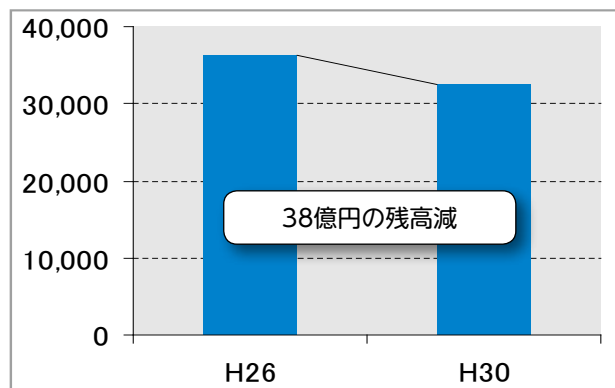
平成30年度末には、地方債残高を326億円まで削減し、基金残額96億円の確保を目指します。

※グラフの単位は、すべて百万円です。

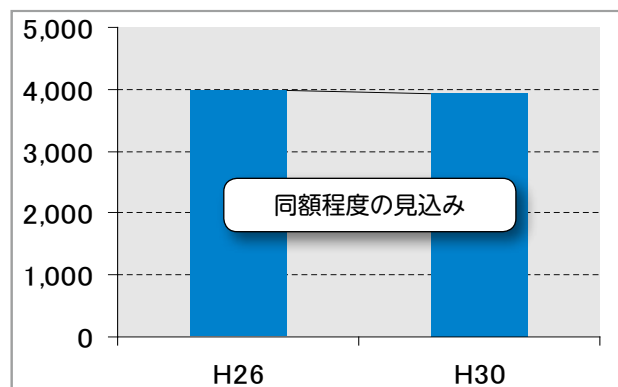
### ◎基金残高



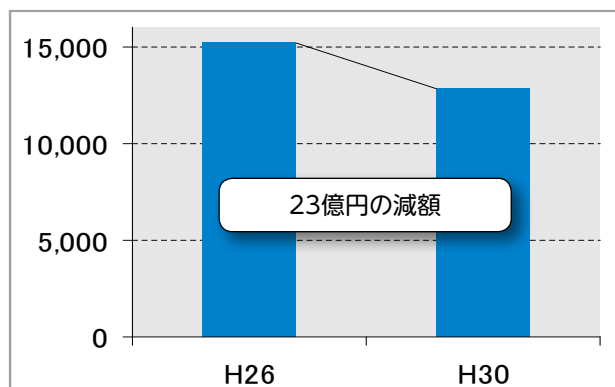
### ◎地方債残高



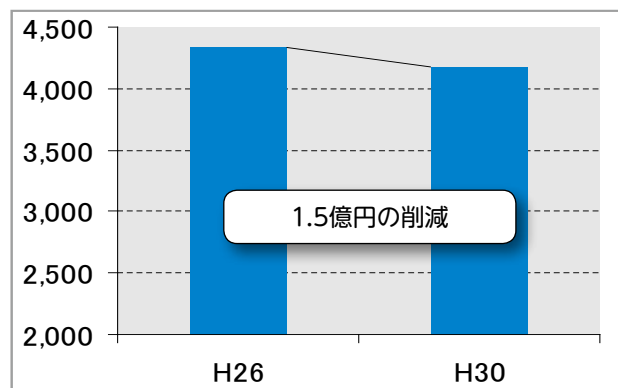
### ◎市税



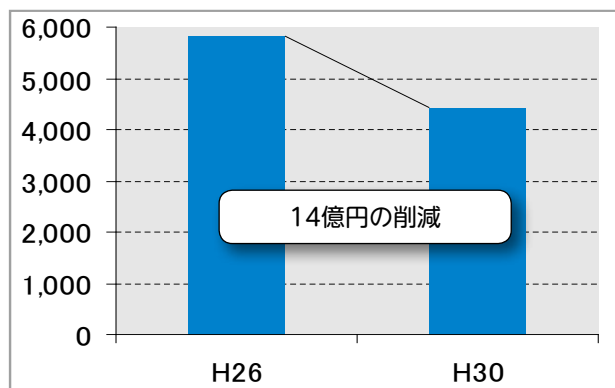
### ◎地方交付税



### ◎人件費



### ◎公債費



※**実質公債比率**：普通会計に一部事務組合や公営企業会計等の公債費部分への補助・負担金、繰出金などを加えた借入金の返済額についての比率で、新しい財政指標の一つです。この比率が18%以上になると新たな起債の発行が協議制から許可制になり、25%以上になると起債の発行が制限され、財政健全化計画を策定し早期是正を図る必要があります。